

平成30年河川功労者決定

このたび、公益社団法人日本河川協会が、平成30年「河川功労者」を決定しました。このうち、国土交通省北陸地方整備局長が推薦した11個人・団体が受賞されました。

- 1 北陸地方整備局長が推薦し、受賞された個人・団体 (敬称略)
※各個人・団体の功績につきましては、資料1をご覧ください。

あそう せいいち とやまけん いみず し
麻生 勢一 (富山県射水市)

こやま ゆたか とやまけん たかおかし
小山 豊 (富山県高岡市)

たかしま かつじ とやまけん とやま し
高島 勝治 (富山県富山市)

うえの のりあき とやまけん おやべし
上 埜 憲昭 (富山県小矢部市)

とちくら ただし にいがたけん にいがたし
栃倉 忠 (新潟県新潟市)

かめざわ のぶひろ とやまけん おやべし
亀澤 信博 (富山県小矢部市)

さなえ みのる とやまけん たかおかし
早苗 実 (富山県高岡市)

しまばやし けんいち とやまけん たかおかし
嶋林 健一 (富山県高岡市)

さなえ まさひこ とやまけん たかおかし
早苗 政彦 (富山県高岡市)

ほくりく けんせつ しんこう かいぎ けんきゅう いいんかい にいがたけん にいがたし
北陸建設振興会議NPO研究委員会 (新潟県新潟市)

にいがた しなのがわ にいがたけん にいがたし
新潟信濃川ライオンズクラブ (新潟県新潟市)

- 2 河川功労者表彰制度について 資料2をご覧ください。

- 3 表彰式

日 時:平成30年5月30日(水) 17時10分から
場 所:砂防会館 シェーンバツハ・サボ- (東京都千代田区平河町2-7-4)

同時発表

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ(新潟)
富山県政記者クラブ

問い合わせ先

北陸地方整備局
河川部 水政課長 長橋(内線3551)
水政課長補佐 春原(内線3552)
025-280-8880(代表)
025-370-6767(ダイヤルイン)

※本件に関しましては、公益社団法人日本河川協会により、国土交通記者会及び国土交通省専門紙記者会において記者発表しております。

受賞された個人・団体の功績

(資料1)

河川功労者表彰規程第2号に該当 (9個人)

氏名 (団体名)	あそう せいいち 麻生 勢一
しょうがわ しょうかわいちまんどう 平成4年から庄川水系庄川一万堂排水樋管の水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	

氏名 (団体名)	こやま ゆたか 小山 豊
おやべがわ おやべがわさいみょうじがわ 平成5年から小矢部川水系小矢部川西明寺川排水樋管の水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	

氏名 (団体名)	たかしま かつじ 高島 勝治
じんづうがわ じんづうがわまつかわ 平成5年から神通川水系神通川松川放水門の水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	

氏名 (団体名)	うえの のりあき 上埜 憲昭
おやべがわ おやべがわふくまち 平成5年から小矢部川水系小矢部川福町排水樋管の水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	

氏名（団体名）	とちくら ただし 栃倉 忠
平成4年から信濃川水系信濃川蒲原大堰・中ノ口川水門の堰等管理員として施設管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	

氏名（団体名）	かめざわ のぶひろ 亀澤 信博
おやべがわ おやべがわちゆうぶ 平成5年から小矢部川水系小矢部川 中部 排水樋管の水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	

氏名（団体名）	さなえ みのる 早苗 実
おやべがわ おやべがわなかがわ 平成5年から小矢部川水系小矢部川 中川 排水樋管の水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	

氏名（団体名）	しまばやし けんいち 嶋林 健一
おやべがわ おやべがわふたがみしん 平成5年から小矢部川水系小矢部川 二 上新 排水樋管の水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	

氏名（団体名）	さなえ まさひこ 早苗 政彦
おやべがわ おやべがわだいげんじ 平成5年から小矢部川水系小矢部川 大源寺 排水樋管の水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	

河川功労者表彰規程第4号に該当（2団体）

氏名（団体名）	ほくりくけんせつしんこうかい けんきゅういんかい 北陸建設振興会議NPO研究委員会
<p>平成19年から信濃川下流域での清掃活動や花壇整備に取り組むなど地域の環境美化活動を行うとともに、「やすらぎ堤川まつり」等の河川関連イベントへの支援活動を行うなど、河川愛護活動に貢献された。</p> <p>（平成27年 河川協力団体に指定）</p>	

氏名（団体名）	新潟信濃川ライオンズクラブ
<p>平成22年から新潟市内を流れる一級河川信濃川において、河川敷を一斉清掃する「信濃川クリーン作戦」に参加し、河川敷地の清掃活動に取り組むなど、河川愛護活動に貢献された。</p>	

資料 2

平成 30 年河川功労者表彰について

1. 公益社団法人 日本河川協会では、昭和 24 年から河川に対する国民の理解を深めるため、当協会の河川功労者表彰規程に定める下記事項に該当する個人及び団体について、毎年定時社員総会において河川功労者表彰を行っております。
2. 表彰者は、毎年、都道府県、国土交通省地方整備局及び河川関係団体等からご推薦いただき、当協会の河川功労者表彰審査委員会で審査し、理事会において決定しています。
3. 平成 30 年の河川功労者は、資料－ 2 のとおりです。
表彰者の総数は、個人 50、団体 39、合計 89 の個人及び団体となっております。
4. これにより、平成 30 年までの表彰者は、3,837 の個人及び団体となります。

記

- 第 1 号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合
- 第 2 号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に関して功績があった場合
- 第 3 号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に顕著な功績があった場合
- 第 4 号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合
- 第 5 号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめた場合
- 第 6 号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合
- 第 7 号 河川や水の分野において国際的に活躍した場合又はこの分野において日本との交流と連携を深めるために功績があった場合
- 第 8 号 本会の発展に顕著な功績があった場合又はその他特に表彰を必要と認められた場合